

2020年10月21日

## オンライン授業アンケート結果を受けての大学の取組み

学長 山崎 哲哉

9月10日に「後学期授業の開始に向けて(学長メッセージ)」として、学生の皆さんにお伝えしたところですが、コロナウイルスの感染状況は9月に後学期の授業が開始された後も、一進一退を繰り返しています。

現状を見る限り、後学期を原則オンライン授業としたことは、学生の皆さんと教職員の安全にとってやむを得ない判断であったと思っておりますが、今も自由にキャンパスに足を運んでいただけない状態に対しては、改めてお詫びを申し上げます。

さて、8月上旬に実施したオンライン授業に関するアンケート調査の結果については、9月25日に本学の3Sに掲示をしましたが、その後も、本学では今回のオンライン授業のアンケート結果を真摯に受け止め、大学として何ができるかを検討しました。大学として、すぐに対応可能なもの、対応するために資金や施設整備など時間が必要なものなどがあります。この度は、アンケート項目のうち、7つの点について、現在、武蔵大学がどのように取り組んでいるのかをまとめました。

今後も、今回のアンケート結果をもとに教職員の研修を重ね、ご指摘いただいた問題の改善に取り組んでいきますので引き続きよろしくお願い申し上げます。

### 1 課題の量について

2020年8月上旬に実施したオンライン授業に関するアンケート調査(以下、アンケート調査)では、授業形態ごとに課題の量が適切であったかどうかを尋ねました。その結果は、「資料配信・課題研究形式」で「とても多い」(30.4%)、「やや多い」(37.3%)で両者の合計が67.7%、「授業の動画・音声配信形式」(オンデマンド型)で「とても多い」(13.8%)、「やや多い」(26.6%)で両者の合計が40.4%、「授業のライブ配信形式」で「とても多い」(17.2%)、「やや多い」(27.8%)で両者の合計が45.0%でした。アンケート調査の自由意見からも「資料配信・課題研究形式」の課題の量の改善を求める声が多かったため、この点については次のように対応します。

- 1) 課題の量が多く感じる原因の一つとして、「何のために行うのか」「どのくらいの時間をかけて完成させるものなのか」が示されていないことが考えられるので、課題を出す時には、その目的や標準所要時間をできるだけ記載するようにします。
- 2) 課題の量とは直接関係ないかもしれませんが、フィードバックの質やタイミングも課題提出型授

業の満足度に大きく影響すると思われられます。そのため、提出された課題については、どのようにフィードバックをするのかを、そのタイミングを含めて事前に伝えるようにします。

## 2 通信環境等で困ったこと

アンケート調査では、「ネット環境が不十分」(30.8%)、「金銭的負担」(23.8%)、「PC・ソフト等の不足・不具合」(19.2%)、「PC・ソフト等に関する知識不足」(19.0%)というご指摘をいただいた一方、最も回答割合が高かったのは「特になし」(37.3%)でした。これらの点については次のように対応します。

- 1) 2020年度後期からは、大学のWi-fi環境を使えるように、一般教室やコンピュータ教室を利用して自習スペースを設けました。
- 2) PCやモバイルルーターの貸出は2020年度前学期から継続して実施しています。

## 3 提出物の受領確認について

アンケート調査結果において、「提出物が届いているかどうか不安」と回答した学生が全体の70.8%を占めていたことを踏まえ、課題提出の確認については、次のように対応します。

- 1) Google Form  
教員が受領確認の自動メール設定を行う。
- 2) Google Classroom  
受領確認の自動メール設定はできないので、学生自身が画面上で提出状況を確認するように周知する。
- 3) Musashi Study Support System (3S)  
受領確認の自動メール設定はできないので、学生自身が課題提出画面で提出状況を確認するように周知する。
- 4) その他の方法の場合  
Onedriveにアップロードしたりメールに添付したり、その他の方法を採用する場合は、あらかじめ課題の受領確認をどのようにするかを学生に周知する。

## 4 授業形態の統一性について

アンケート結果において「授業ごとに授業形態が異なる」ことも49.2%の学生から指摘を受けています。ライブ配信、録画配信、音声配信、資料配信などが混在していることに加えて、3S、Google Classroom、Zoom、そしてMoodleなどのさまざまなオンライン授業ツールが使われていることへの指摘ですが、この点については次のように考え、また対応するようにします。

- 1) 武蔵大学でも前学期、後学期それぞれ 1,300 近い授業が行われており、授業特性に合った方法を採用することになっています。そのため、授業ごとに授業形態やオンライン授業ツールが異なることはやむを得ないものと考えております。この点についてはご理解いただけますようお願いいたします。
- 2) 3S、Google Classroom、Zoom については、3Sのポータルサイトで「オンライン授業ツール関連資料」としてマニュアルを掲載しています。これらのマニュアルについては、より使いやすいものになるように随時改善します。
- 3) 授業特性に合った授業形態を採用することを、改めて教員全体に周知します。

## 5 教員とのコミュニケーションについて

アンケート結果において「教員とコミュニケーションがとれない・とりにくい」と回答した割合が 47.3% あったことについては、次のように対応します。

- 1) 3Sの Q&A の活用  
学生、特に低学年の学生に対して、3Sの Q&A 機能の使い方を周知し、教員は3Sの Q&A を定期的に確認するようにします。
- 2) 専任教員のオフィスアワーの活用  
専任教員にはオフィスアワーが設定されています。それぞれの教員の時間帯は3Sのポータルサイトで確認できますので、オフィスアワーを活用したコミュニケーションを積極的に活用してみてください。
- 3) 対面授業の部分的導入  
2020 年度後学期は届出制による対面授業を実施できるようにしましたので、このことによって日常のコミュニケーション不足をある程度まで補えるようにしました。なお、対面授業の履修者の健康チェックや教室内での3密回避など、感染拡大防止策を十分とった上で実施しています。

## 6 図書館の資料が利用できないこと

大学の学習に欠かせない図書館の利用についても「図書館の資料が利用できない」という回答が学生全体の 46.1%を占めました。この件については次のように対応しています。

- 1) 2020 年 11 月 2 日(月)からは、4 時間入替制になりますが、予約不要で、平日は 9 時～21 時、土曜日は 9 時～18 時まで利用できるようにします(11 月は日曜日も 9 時～18 時まで開館)。なお、11 月 1 日(日)までは、予約の上、平日は 9 時～21 時、土曜日(日曜日は休館)9 時～18 時までの利用になります。
- 2) 来館できない学生への対応として、貸出可能な図書を送料無料で自宅等に送るようにし、2020

年9月28日(月)から2021年3月31日(水)到着分までは一定の条件の下で返却にかかる送料も無料としました。

## 7 他の学生と一緒に学べないこと

アンケート調査では、「他の学生と一緒に学べず孤独感を感じた」との回答も全体の44.5%とかなり高い割合でありましたが、この件については次のように対応しています。

- 1) 2020年度の後学期からは、自習スペースの他に、経済学部、人文学部、そして社会学部のGS(グループスタディ)ルームを予約制で利用できるようにしました。
- 2) 各学部のGSルームの他、4教室をグループで使えるように解放します。予約は教員を通して行いますので、必要な場合は、授業担当教員に相談してください。
- 3) 2020年度の後学期からは、一部のゼミなどで対面授業を再開しています。

以上